

世界の課題に解決策

桑名・ジュニアアサミット

高校生ら成果発表

「若者へ刺激、行動きっかけに」

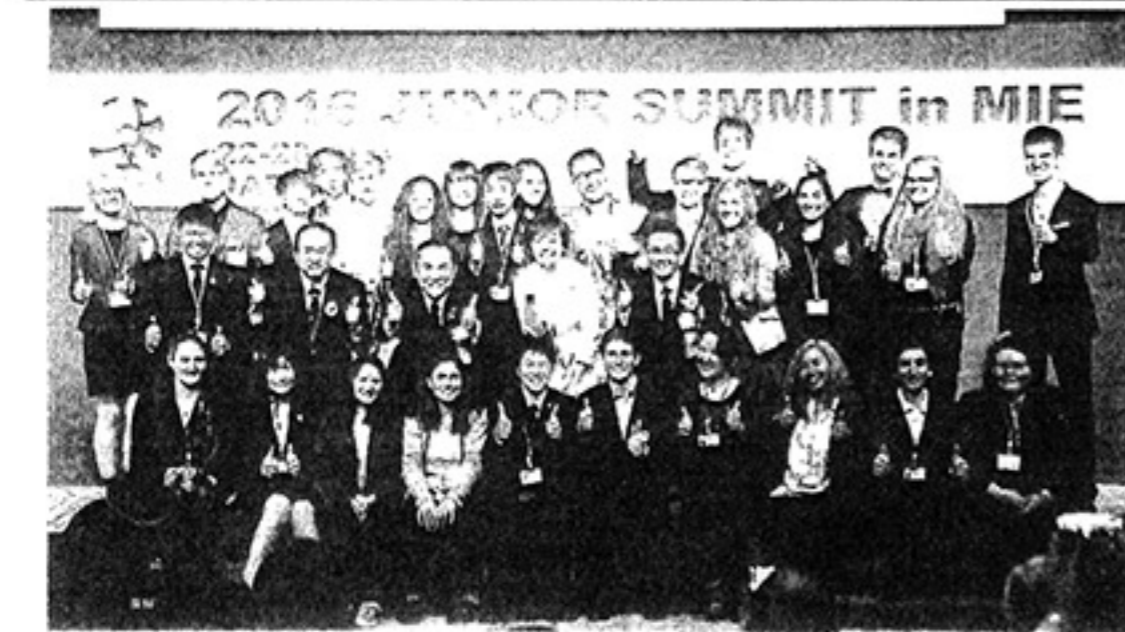
主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）の関連行事で、先進七カ国（G7）の高校生らが世界の課題について話し合う「2016ジュニア・サミット in ミエ」は五日目を迎えた二十日、桑名市のナガシマリゾートで成果発表会があった。各国四人ずつの計二十

八人がまとめた「桑名ジュニア・コミュニケーション（男女不平等）」をテーマに討議してきた。この日はグループごとに壇上上がり、外国人の代表らが英語で主張を述べた。

四日市市▽県立津高三年、稲葉陽樹さん（市▽県立川越高三年、加藤杏弥さん（市▽四日市市▽私立東海高二年、上堀内陸王さん（市▽桑名市▽も、外国人の代表に続いて日本語でプレゼンした。発表会の冒頭では、フランス人のケンジ・ニコロさん（市▽参加者を代表してあいさつ。「七つの違う文化の者が話し合い、これだけの成果をまとめた。ジュニアサミットが他の若者の刺激となり、行動を始める

人參事官は「平和の維持には会話が重要だと外交官として確信している。ジュニアサミットが多々の関心を呼んだことをうれしく思う」と述べた。参加者らは発表の後、県立白子高（鈴鹿市）吹奏楽部から演奏の歓迎を受け、昼食を取りながらの送別会に出席。午後には都内に向けて出発した。二十七日は筑波大付属高（東京）の生徒らと交流し、最終日の二十八日までには安倍晋三首相に声明を手渡す予定。

（海住真之）



討議の成果発表を終えて安倍首相夫人（中央）と記念撮影をするジュニアサミットの参加者ら＝桑名市のナガシマリゾートで

ジュニアサミットの成果を発表する参加者ら
＝桑名市のナガシマリゾートで